

森づくりの最前線

千葉森林管理事務所 湊森林事務所 森林官 安達 義文



とづらほら
湊川上流の戸面原ダム



かのうざん
鹿野山周辺の国有林から見た富士山

私の勤務している湊森林事務所は、千葉県の東京湾に面する中西部に位置し、富津市、南房総市、君津市の約2千㍍を管轄しており、国有林は鹿野山（標高379㍍）周辺と高宕山（標高315㍍）周辺にあり、その多くは県立高宕山自然公園で、一部は南房総国定公園に指定されています。各市ともに森林率は50～65%ですが、国有林の占める割合は低く15%以下となっています。

高宕山周辺の国有林は、湊川の水源林となっており、標高は低いものの急斜面が多く、表土が浅いのが特徴です。そのため、収穫調査や各種作業を行う上では、滑りやすく大変です。

高宕山周辺には、ニホンザルが生息しており、千葉県と京都大学との研究により、サルの群を生態観察する場として学術上貴重なことから、1956年に国の天然記念物「高宕山のサルの生息地」に指定されました。

また、この地域には、千葉県のレッドデータブックに掲載されているヒメコマツが生育していますが、最近、マツクイムシの被害等で個体数が激減しています。そのためヒメコマツの保護活動を千葉県と協力しマツクイムシ防除の薬剤注入や個体の状況確認などを行っています。

最近、シカの増加の影響からか、ヤマビルが侵入するようになり、悩みの種となっています。

鹿野山周辺の国有林は、東京湾に向かって緩やかな地形となっており、天気の良い日には、東京湾観音や富津岬・東京湾アクアライン海ほたる、そして彼方に富士山が見えます。さらに最近、話題の東京スカイツリーも見えるようになりました。

この地域は、良質の山砂利や山砂が採れ、昭和40年代から50年代に掛けて山砂利の生産事業を行っていました。

また、当森林事務所管内には、優良な木材が生産される山武スギが植栽されていますが、最近、スギカミキリによる被害が目立つようになってきました。被害の拡大防止のために千葉県と協力しながら、生息調査を兼ねて粘着性紙バンドの設置を始めています。

事務所の名称が「担当区」から「森林事務所」に変更されてから19年程経ちますが、地元の人達の中には森林組合と間違えて電話をかけてきたり、事務所に訪れる方もおります。昔の「営林署」ですと名乗ることで分かってもらえるほど知名度が低いのが実情です。今後も、森林の役割や機能（水源林・防風林や木材の生産等）が生活と関係していることなどをPRして、一人でも多くの方々の理解と森林事務所の存在を知ってもらえるよう努めていきたいと思



山砂利採取跡の造林地



スギカミキリ被害防止の粘着性紙バンド